

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期播磨町地方創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

兵庫県加古郡播磨町

3 地域再生計画の区域

兵庫県加古郡播磨町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は昭和37年（1962年）の町制施行時には約9,000人程度で、高度経済成長期にかけて人口が急増し、平成12年（2000年）には33,766人と人口のピークを迎えたが、国勢調査によると令和2年（2020年）には33,604人となっており、ほぼピーク時の水準を維持している。しかし、令和2年（2020年）国勢調査結果までを踏まえた国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口（2023年推計）」に準拠した推計によると、本町の将来人口は、令和22年（2040年）には29,952人、令和42年（2060年）には24,842人となることが見込まれている。

総人口に占める年齢3区分別の割合の推移をみると、平成2年（1990年）において年少人口、生産年齢人口、老年人口はそれぞれ20.9%、40.4%、7.8%であるのに対し、令和2年（2020年）はそれぞれ14.4%、58.1%、27.5%となっており、少子高齢化が進行していることがわかる。

本町の自然動態について住民基本台帳によると、平成27年（2015年）は37人の自然増であったが、以降自然減が続き、令和6年（2024年）は▲129人の自然減となっている。

また、昭和60年（1985年）以降の合計特殊出生率は減少傾向で推移し、平成17年（2005年）には1.07まで減少したが、平成22年（2010年）以降は回復し、令和2年（2020年）では1.46となった。

社会動態をみると、平成 21 年（2009 年）まで転出傾向が続いていたものの、平成 22 年（2010 年）から平成 24 年（2012 年）にかけ、大規模な宅地開発の影響もあり社会増となっている。その後は微増微減を繰り返し、令和 2 年（2020 年）以降は社会増の状況が続いている。

早くから子育て支援施策に重点的に取り組み、人口は前述のとおり平成 12 年以降均衡を保っているが、今後も全国的に人口減少が見込まれるなか、本町においても少子高齢化の加速は避けられない状況にある。こうした状況の中、これからも住民に住み続けてもらうためには、地域経済の活性化や働く場の確保を行うことで、まちの基盤を強くし、また、若い世代に選ばれるまちになるため、子育てや教育施策の更なる充実を図り、安全・安心に暮らすことができるまちづくりをしていく必要がある。

これらの課題を踏まえ、現在の活力を将来にわたり維持し続けるために、めざすべき方向として次の 3 点を掲げる。また、各基本目標に取り組む上では、横断的視点として「情報発信の強化」「多様な主体との協働の推進」「デジタル技術の活用」を念頭に置き、事業を遂行する。

- ・基本目標 1 〈未来につなぐ〉地域の産業としごとのさらなる発展
- ・基本目標 2 〈未来を育む〉若い世代の希望をかなえるまちづくり
- ・基本目標 3 〈未来を支える〉暮らしの豊かさを実感できる地域づくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町内総生産額	283,739百万円	292,000百万円	基本目標 1
イ	年少人口（0～14歳人口）の割合	13.7%	12.7%	基本目標 2
ウ	住み続けたい住民の割合	89.2%	92.0%	基本目標 3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第3期播磨町地方創生推進事業

ア 〈未来につなぐ〉地域の産業としごとのさらなる発展事業

イ 〈未来を育む〉若い世代の希望をかなえるまちづくり事業

ウ 〈未来を支える〉暮らしの豊かさを実感できる地域づくり事業

② 事業の内容

ア 〈未来につなぐ〉地域の産業としごとのさらなる発展事業

地域産業の振興や中小企業支援、企業誘致、地域資源の活用を通じて、地域における安定した就労機会と産業の活力を確保し、持続可能な経済基盤を構築する。

【具体的な事業】

- ・新規出店支援や創業支援
- ・町の立地環境を活かした企業誘致
- ・町内で働く場の確保と雇用促進
- ・ふるさと納税の返礼品として地場製品の活用
- ・地元農水産物の朝市販売や学校給食への提供による地産地消推進 等

イ 〈未来を育む〉若い世代の希望をかなえるまちづくり事業

子育て支援や教育環境の充実、自然と調和した暮らしの推進を通じて、日々の暮らしに安心と豊かさを感じられるような地域づくりを進める。

【具体的な事業】

- ・妊娠初期から切れ目のない支援体制の構築
- ・延長保育など多様な保育ニーズに対応するサービスの提供
- ・学校施設の改修やICT環境の整備等による学習環境の更なる充実
- ・社会教育施設の活用促進や地域のサークル活動の支援

- ・中学校部活動地域展開を通じた地域のスポーツ・文化芸術環境や指導体制の整備 等

ウ 〈未来を支える〉暮らしの豊かさを実感できる地域づくり事業

健康づくりや医療体制、防災・防犯、支え合い、共生社会の推進など、誰もが心身共に安心して暮らせる地域環境を整備し、住民の幸福度の向上を図る。

【具体的な事業】

- ・若い世代が健診を受けやすい環境整備
- ・自主防災組織の研修や防災訓練を通じて、防災意識と地域の共助体制の強化
- ・避難所や医療機関の備蓄拡充
- ・町内全域に設置した見守りカメラや防犯灯による犯罪抑止
- ・孤独・孤立の予防に向け、官民連携によるアウトリーチ体制の強化 等

※なお、詳細は第3期播磨町総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月頃に、外部有識者で構成する播磨町総合戦略推進会議において効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を検討する。

検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで